

# 男女共同参画に関する事業所意識調査 結果

令和4年8月

伊勢市

## 1. 調査の目的

伊勢市では、平成 18 年 7 月 11 日に男女共同参画都市を宣言するとともに、平成 19 年 4 月 1 日、伊勢市男女共同参画推進条例を施行して、男女が生き生きと暮らすことのできる男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいます。

男女共同参画社会の実現には、家庭・地域での取組に加え、個人の生活に大きな影響力を持つ「働き方」に関する取組が大変重要であり、事業所と一体となった取組が求められています。また、平成 27 年には「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が成立し、さまざまな施策が推進されています。

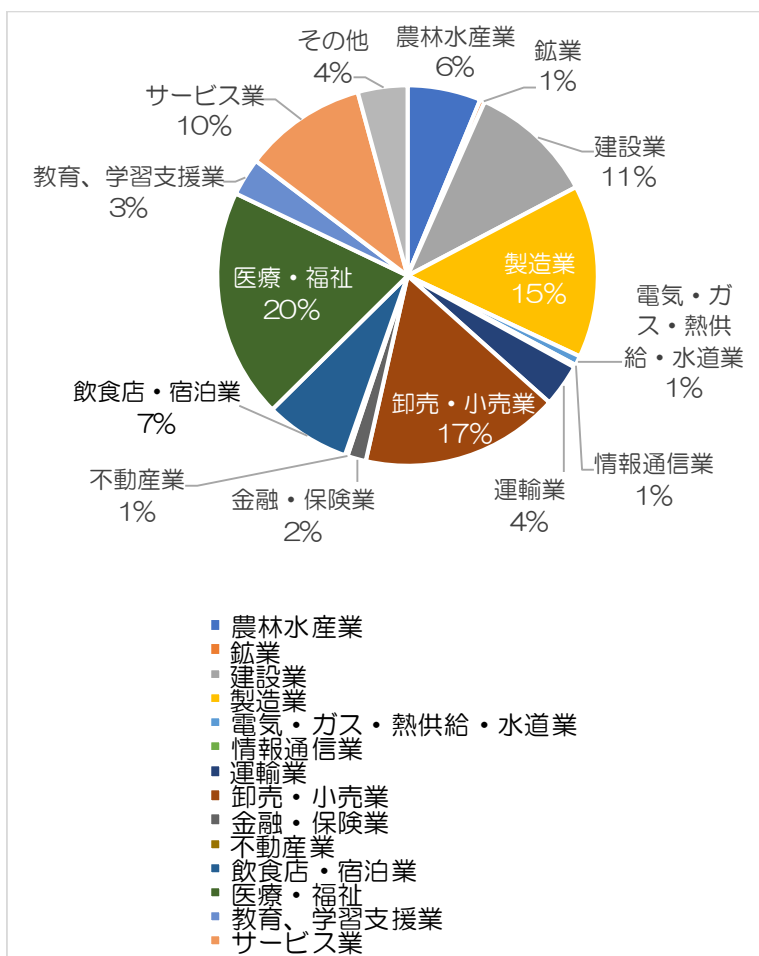
そこで、事業所における男女共同参画に対する取組の状況や問題点を調査し、今後の施策に反映するため、アンケート調査を実施しました。

## 2. 調査の概要

調査地域	伊勢市全域
調査対象	従業員数が 8 名以上の市内の事業所
標本数	1,592 社
抽出方法	総務省事業所母集団データベースより抽出（令和元年年次フレーム）
調査方法	郵送およびインターネット
調査期間	発送：令和 4 年 1 月 11 日 回収期限：令和 4 年 2 月 14 日
回答数	507 社
回収率	31.8%

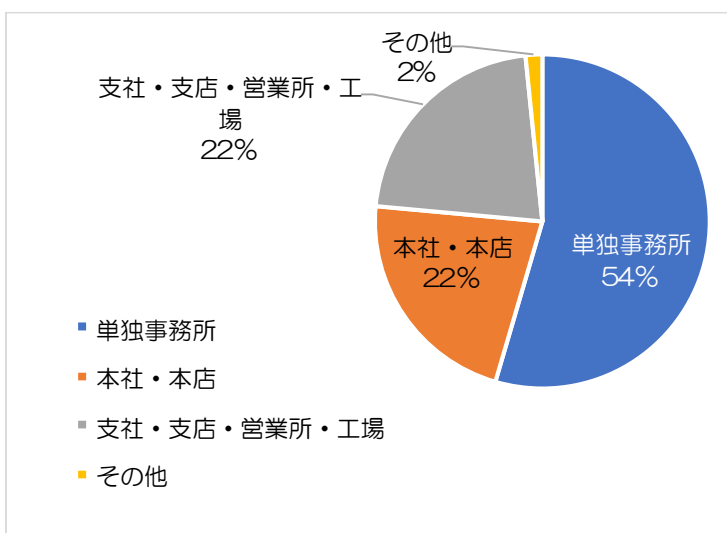
問1 業種についてお答えください。(〇は1つ)

選択肢	事業所数
農林水産業	31
鉱業	2
建設業	53
製造業	73
電気・ガス・熱供給・水道業	4
情報通信業	1
運輸業	18
卸売・小売業	84
金融・保険業	8
不動産業	1
飲食店・宿泊業	36
医療・福祉	97
教育、学習支援業	16
サービス業	52
その他	21
無回答	10
合計	507



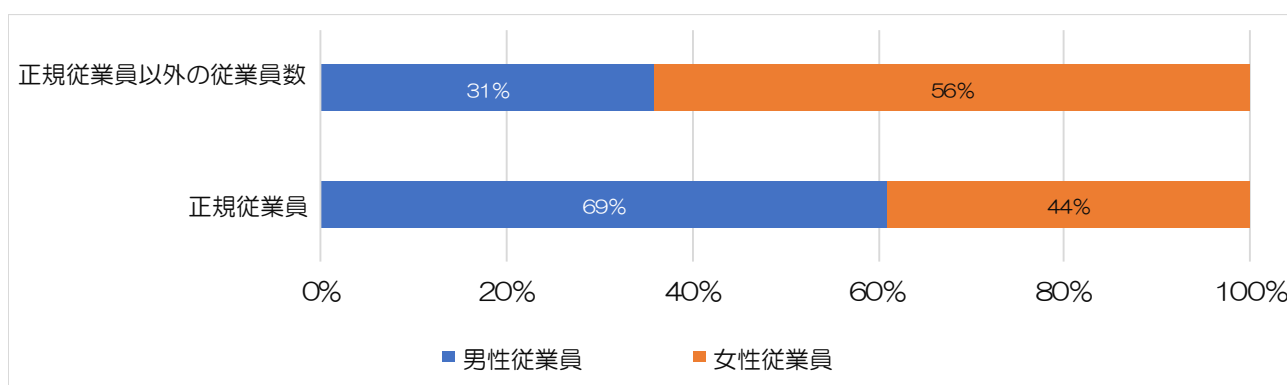
問2 貴事業所の形態についてお答えください。(〇は1つ)

選択肢	事業所数
単独事務所	271
本社・本店	109
支社・支店・営業所・工場	109
その他	8
無回答	10
合計	507



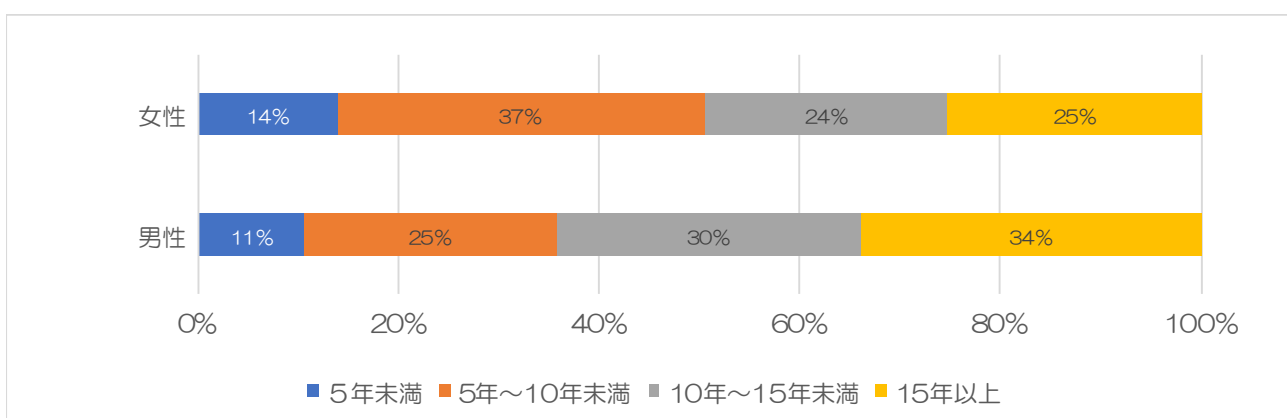
問3 貴事業所の従業員数をお答えください。

選択肢	男性従業員	女性従業員
正規従業員（社長・店主等含む） 常用雇用者のうち、一般に「正社員・職員」などと呼ばれている人	6,847	4,164
正規従業員以外の従業員数 常用雇用者のうち、「嘱託社員・職員」「派遣社員・職員」「パートタイマー」「アルバイト」などと呼ばれている人	3,131	5,292
正規従業員以外の従業員の割合	31.4%	56.0%



問4 正規従業員の平均的な勤続年数をお答えください。（〇は1つ）

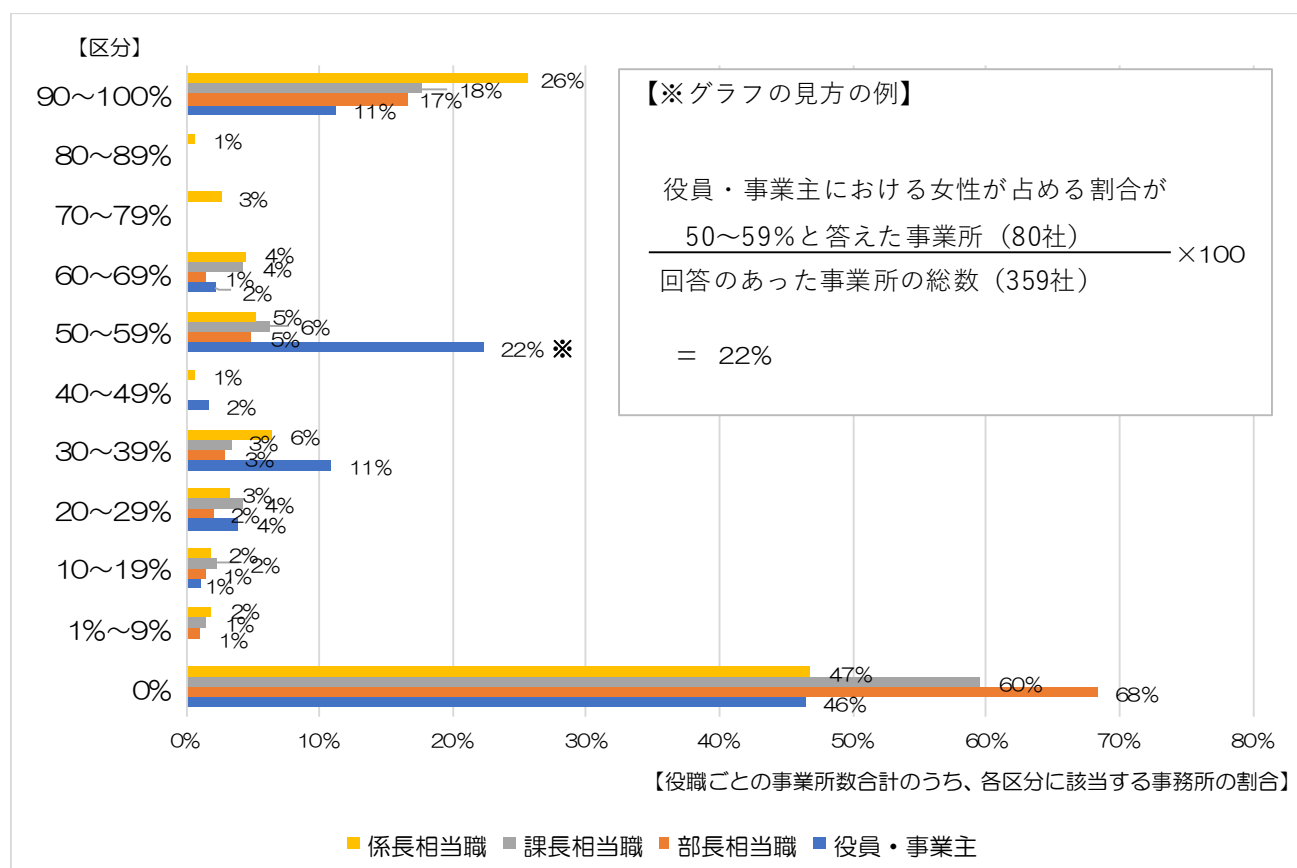
選択肢	5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
女性	63	165	110	114
男性	49	116	140	156



問5 係長以上の管理職(※)及び女性管理職は何人いますか。

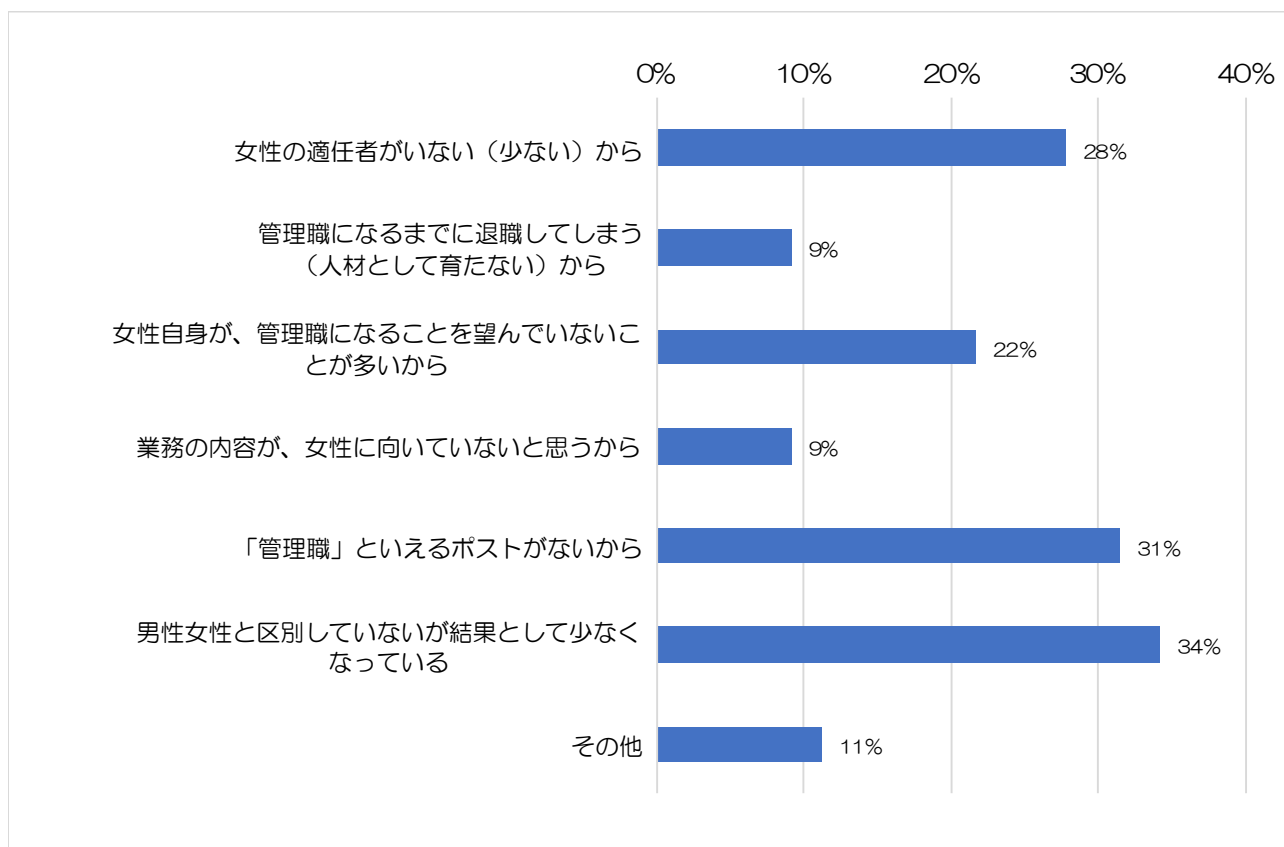
役職ごとの総人数のうち 女性の占める割合		事業所数			
		役員・事業主	部長相当職	課長相当職	係長相当職
区分	0%	167	140	125	73
	1%~9%	0	2	3	3
	10~19%	4	3	5	3
	20~29%	14	4	9	5
	30~39%	39	6	7	10
	40~49%	6	0	1	1
	50~59%	80	10	13	8
	60~69%	8	3	9	7
	70~79%	1	0	1	4
	80~89%	0	1	0	1
合計	359	203	210	155	

※該当する役職が設けられていない場合及び無回答の事業所は省いた



問6 問5で、女性管理職の合計が管理職全体の1割未満と回答した事業所にお聞きします。それはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

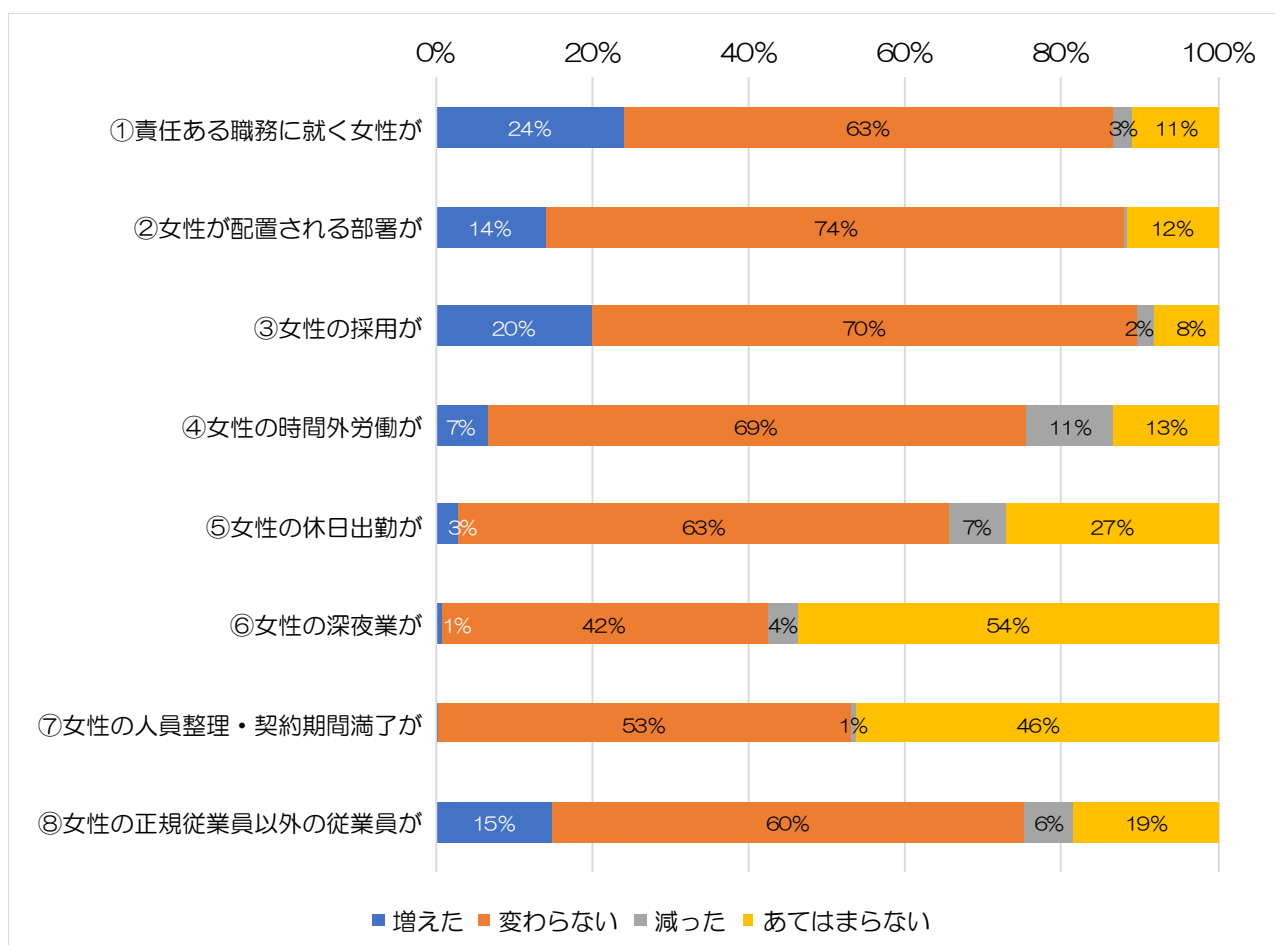
選択肢	事業所数
女性の適任者がいない(少ない)から	82
管理職になるまでに退職してしまう(人材として育たない)から	27
女性自身が、管理職になることを望んでいないことが多いから	64
業務の内容が、女性に向いていないと思うから	27
「管理職」といえるポストがないから	93
男性女性と区別していないが結果として少なくなっている	101
その他	33
合計	427



女性従業員の就労について伺います。

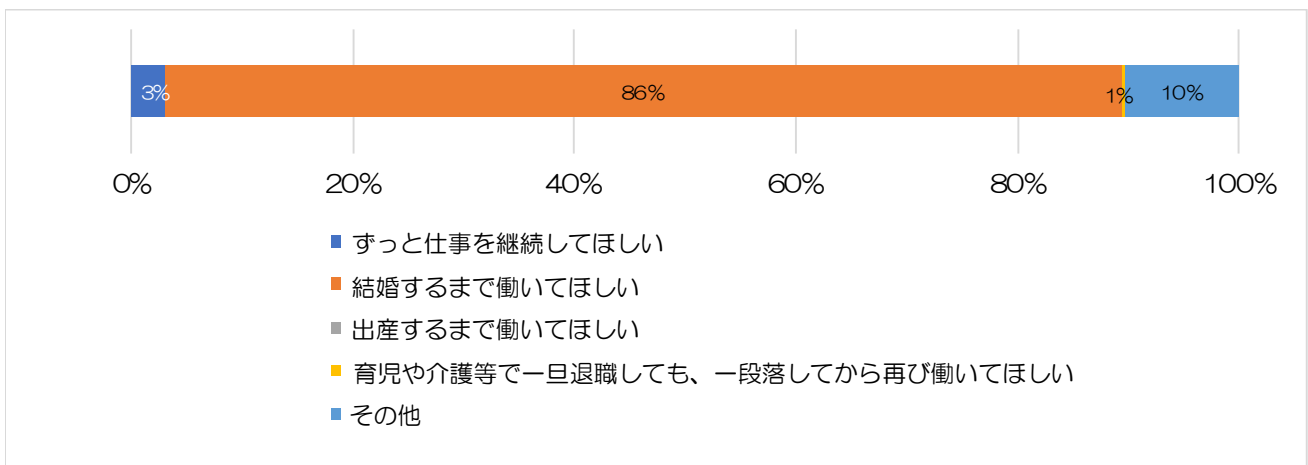
問7 女性の雇用管理について、5年前と比べ、どのような変化がありましたか。

選択肢	増えた	変わらない	減った	あてはまらない	無回答
①責任ある職務に就く女性が	118	307	13	53	0
②女性が配置される部署が	69	363	1	57	17
③女性の採用が	99	342	11	40	15
④女性の時間外労働が	33	340	55	66	13
⑤女性の休日出勤が	14	309	36	133	15
⑥女性の深夜業が	4	204	19	263	17
⑦女性の人員整理・契約期間満了が	2	258	4	226	17
⑧女性の正規従業員以外の従業員が	74	297	31	91	14



問8 貴事業所では、女性従業員にいつまで働き続けてほしいと思いますか。(〇は1つ)

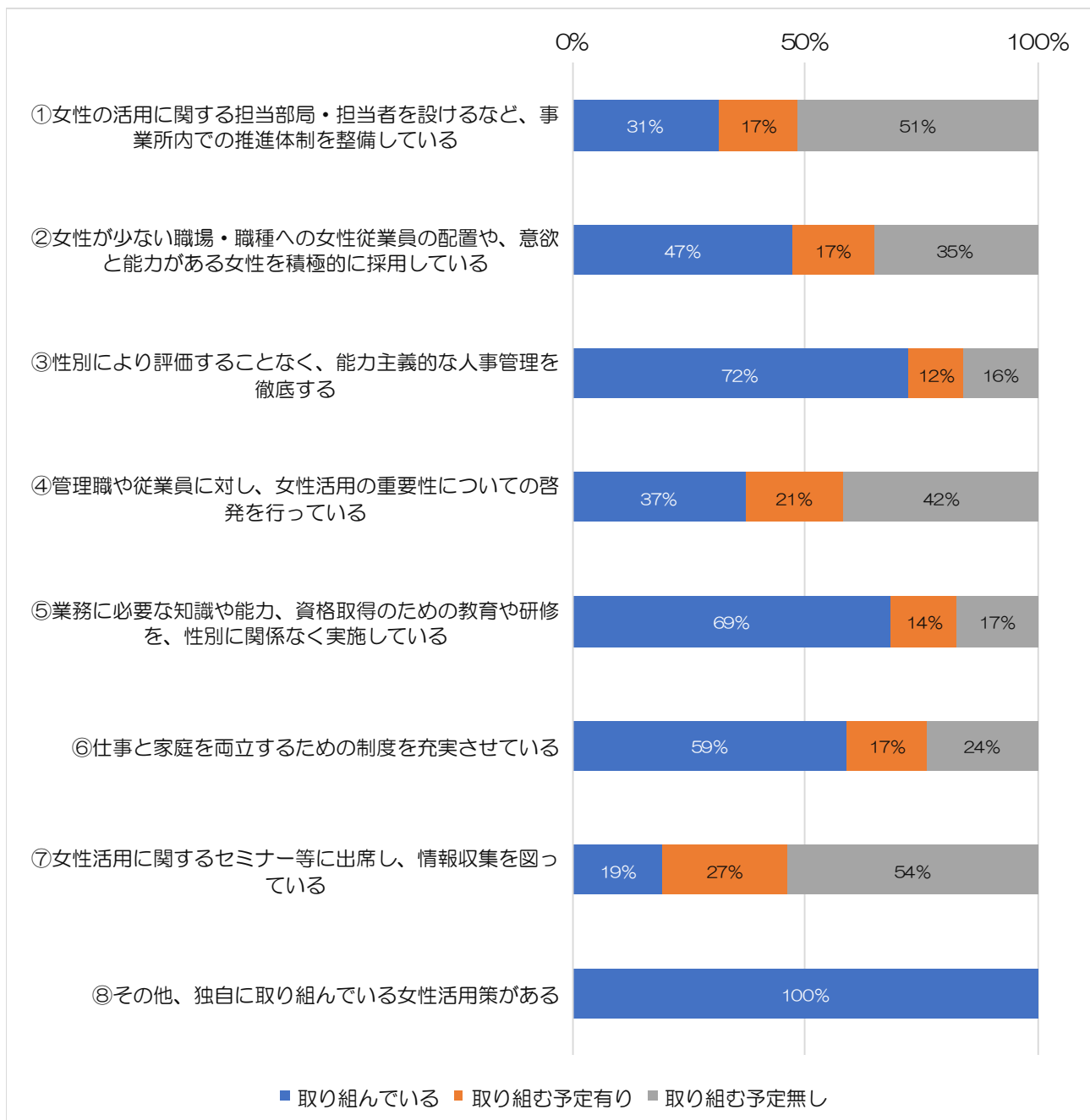
選択肢	回答数
ずっと仕事を継続してほしい	15
結婚するまで働いてほしい	430
出産するまで働いてほしい	0
育児や介護等で一旦退職しても、一段落してから再び働いてほしい	1
その他	52
無回答	9
合計	507





問9 貴事業所では、女性を活用するためにどのようなことに取り組んでいますか。  
 (それぞれ〇は1つ)

選択肢	取り組んでいる	取り組んでいない		無回答
		取り組む予定有り	取り組む予定無し	
①女性の活用に関する担当部局・担当者を設けるなど、事業所内での推進体制を整備している	145	80	238	44
②女性が少ない職場・職種への女性従業員の配置や、意欲と能力がある女性を積極的に採用している	221	81	165	40
③性別により評価することなく、能力主義的な人事管理を徹底する	338	56	74	39
④管理職や従業員に対し、女性活用の重要性についての啓発を行っている	171	97	191	48
⑤業務に必要な知識や能力、資格取得のための教育や研修を、性別に関係なく実施している	325	67	82	33
⑥仕事と家庭を両立するための制度を充実させている	276	79	112	40
⑦女性活用に関するセミナー等に参加し、情報収集を図っている	90	125	248	44
⑧その他、独自に取り組んでいる女性活用策がある	29	0	0	478



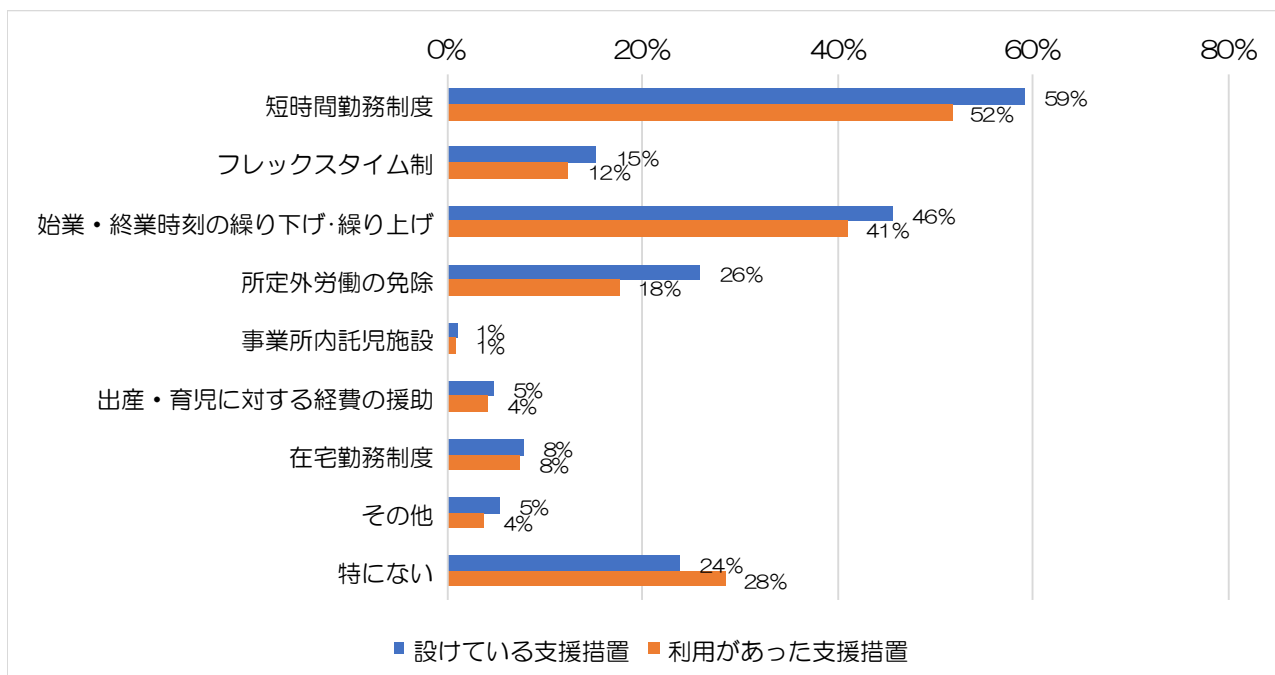
子育て・介護と仕事の両立支援について伺います。

問 10 貴事業所では育児や介護を行う従業員を支援するために、どのような措置を設けていますか。(〇はいくつでも)

問 11 問 10 で〇をつけた制度のうち、実際の利用がある(あった)ものは何ですか。

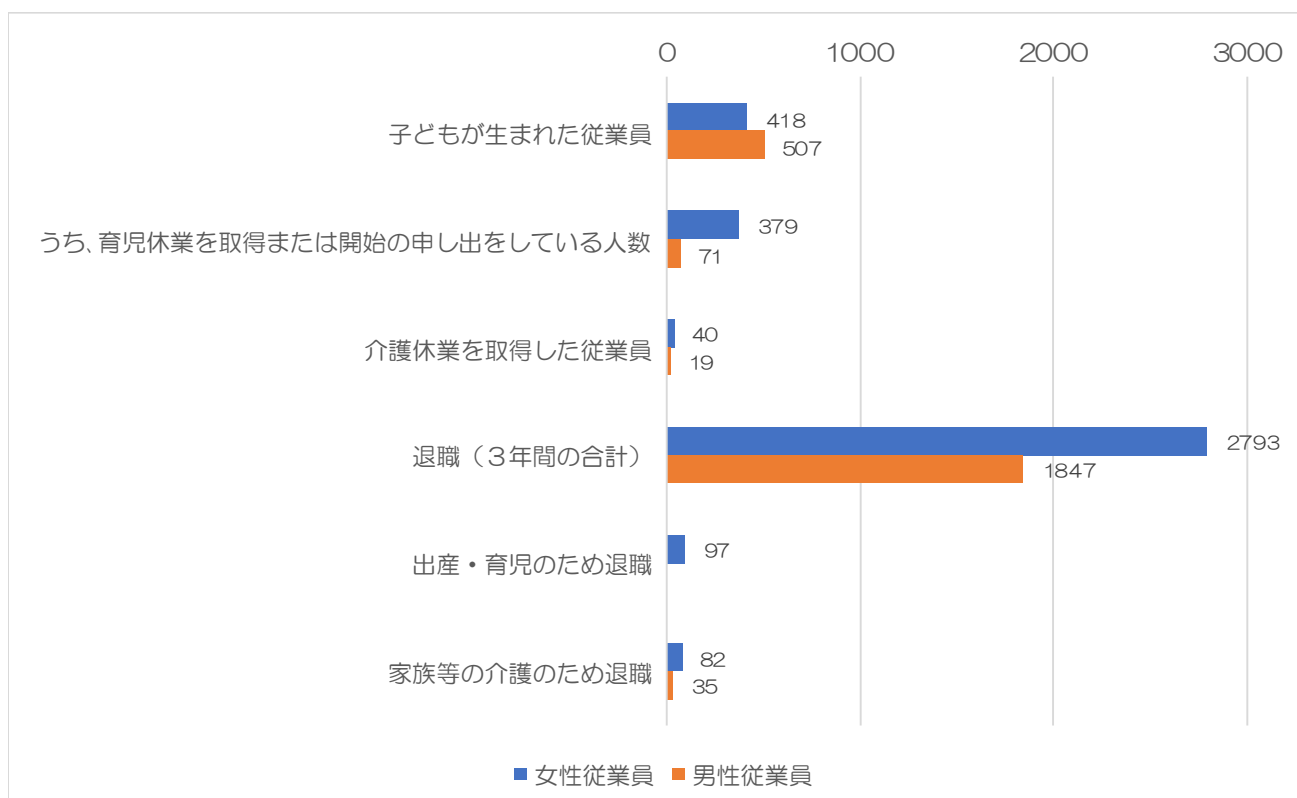
(〇はいくつでも)

選択肢	【問 10】設けている 支援措置	【問 11】利用があった 支援措置
短時間勤務制度	294	234
フレックスタイム制	76	56
始業・終業時刻の繰り下げ・繰り上げ	227	186
所定外労働の免除	129	80
事業所内託児施設	5	4
出産・育児に対する経費の援助	24	19
在宅勤務制度	39	34
その他	27	17
特にない	119	129
無回答	10	54

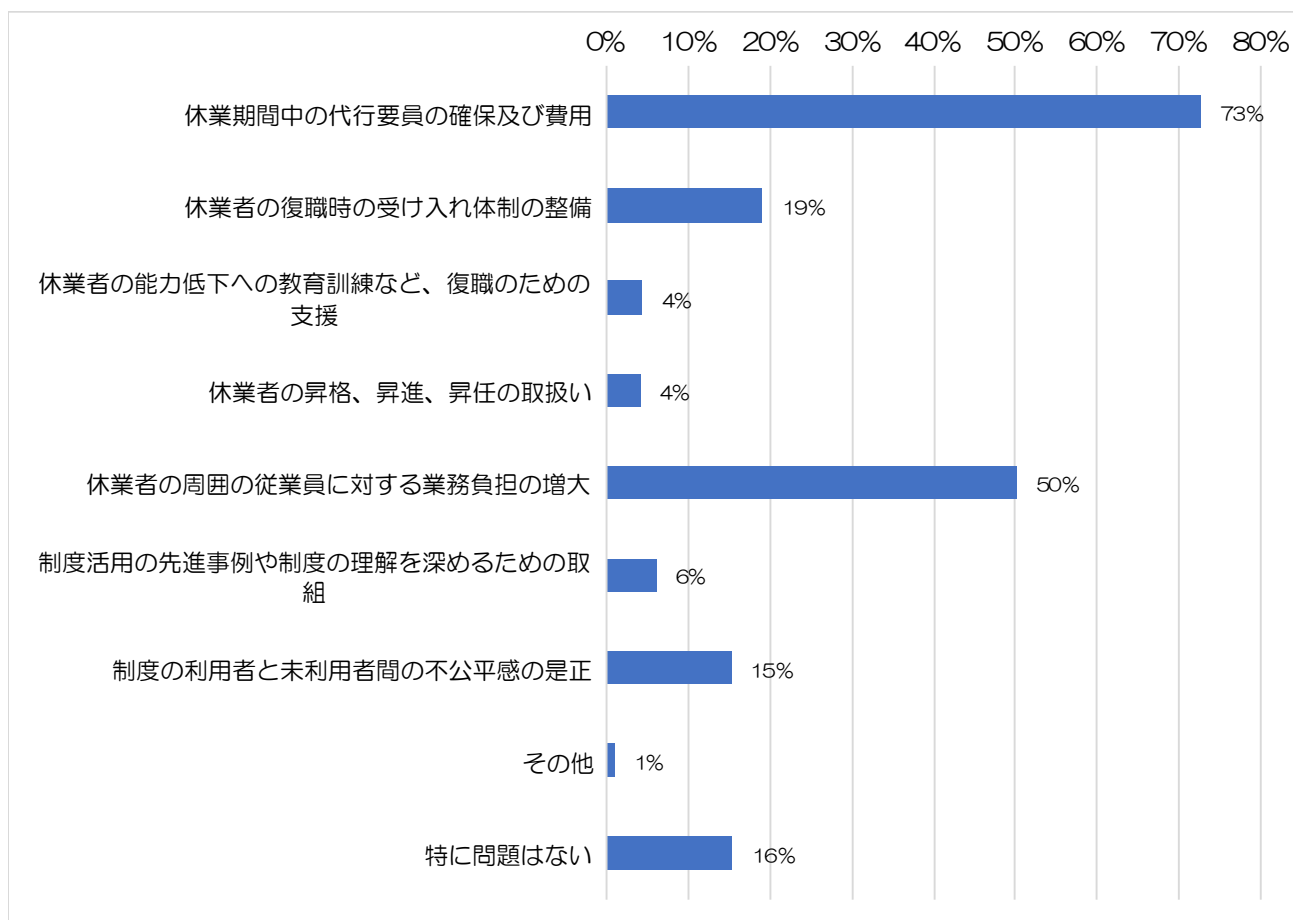


問 12 過去3年の間で、以下の従業員の人数についてお答えください。

選択肢	女性従業員	男性従業員
子どもが生まれた従業員	418	507
うち、育児休業を取得または開始の申し出をしている人数	379	71
介護休業を取得した従業員	40	19
退職（3年間の合計）	2,793	1,847
出産・育児のため退職	97	0
家族等の介護のため退職	82	35
合計	3,809	2,479



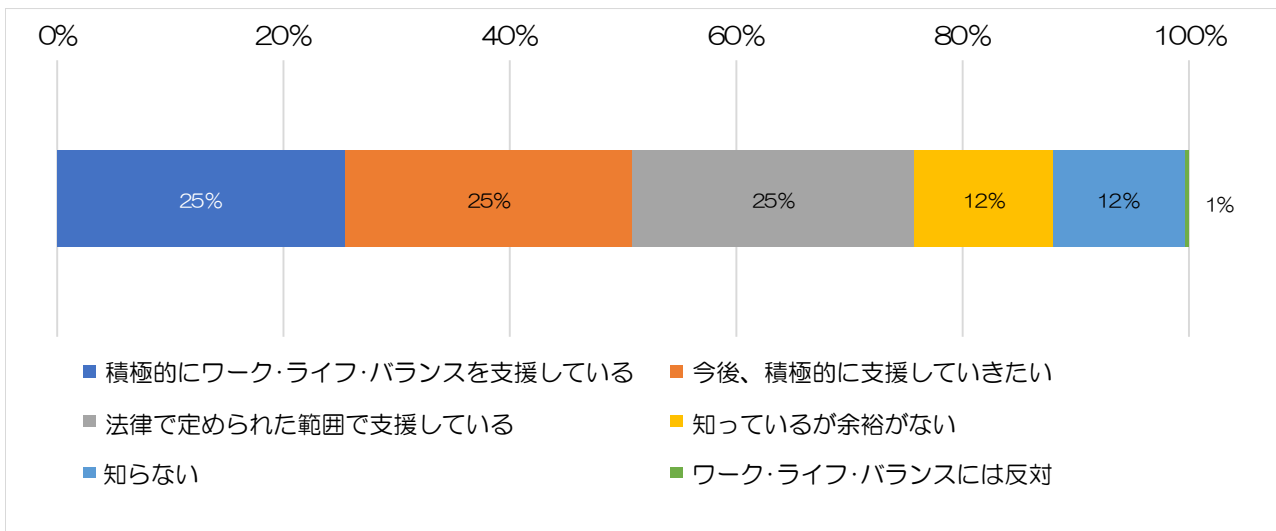
問 13 育児・介護休業制度の活用を進めていくうえで、貴事業所で課題となるのはどのようなことですか。  
(〇はいくつでも)



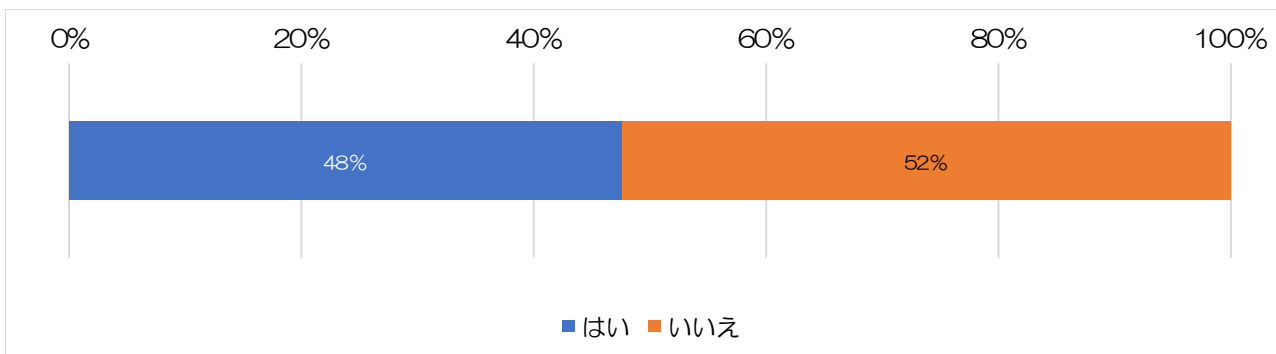
就労環境等について伺います。

問 14 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランス(※)について、どのように考えていますか。

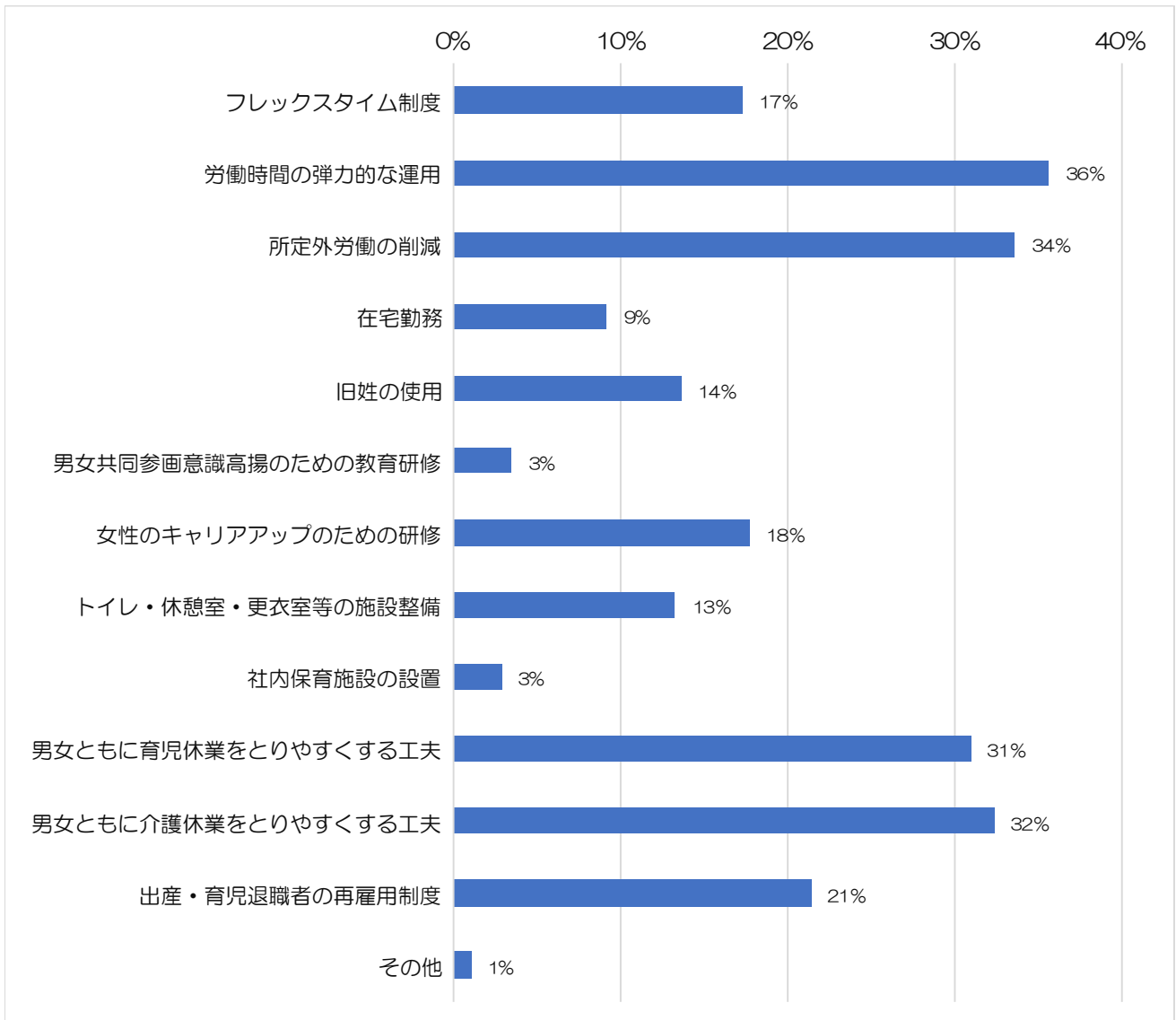
(○は1つ)



問 15 妊娠、出産、育児、介護を理由に退職した従業員を対象とした再雇用制度がありますか。(○は1つ)

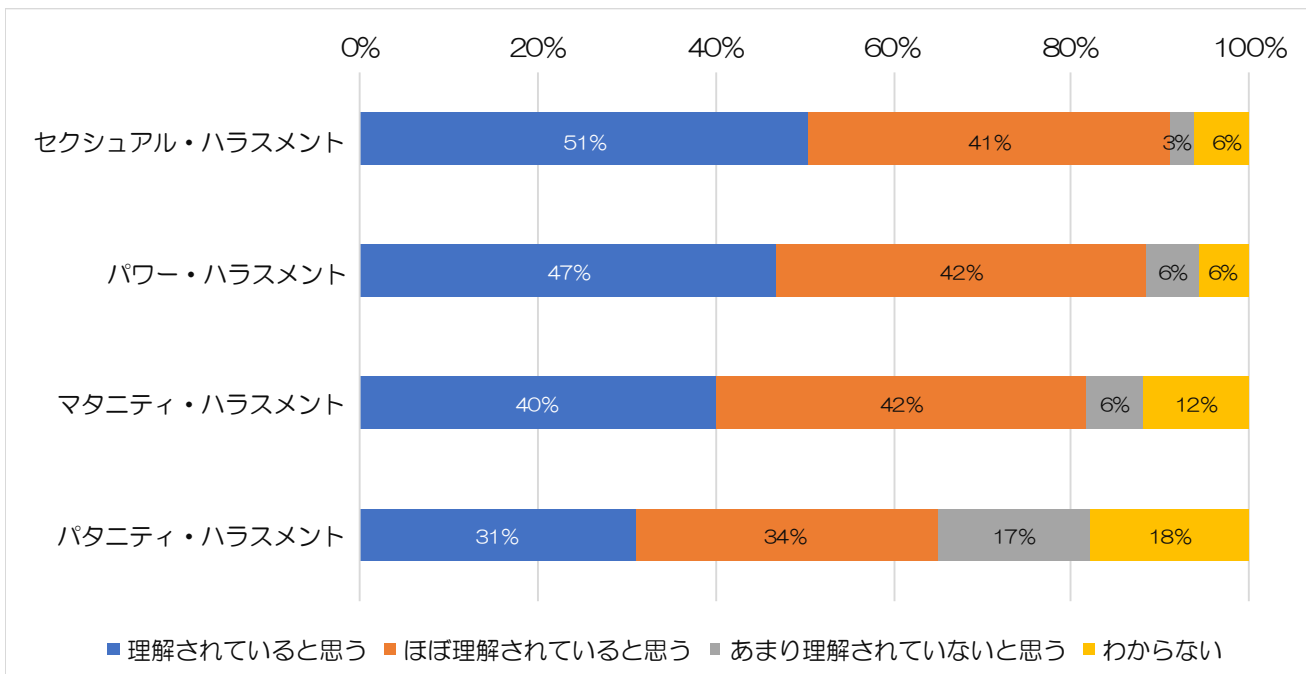


問 16 従業員の働きやすさ向上のために、今後整備・充実していく意向がある事項をお答えください (〇は  
いくつでも)



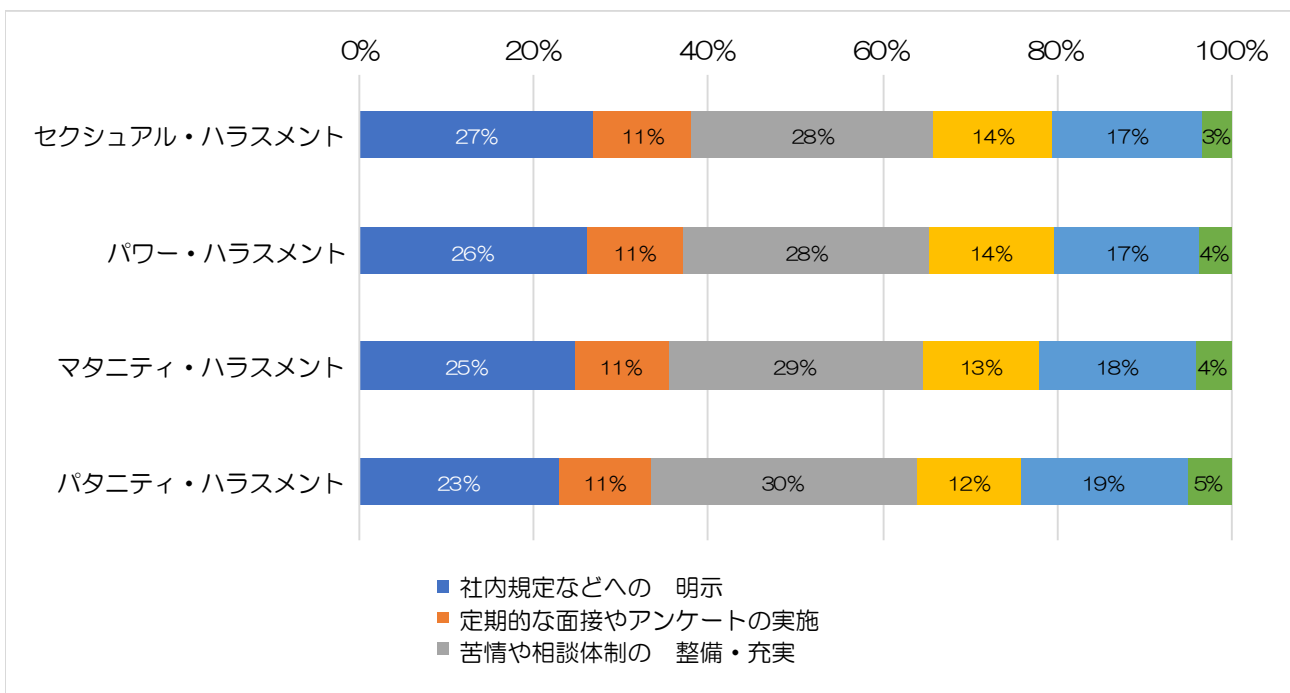
ハラスメントを防止する取組について伺います。

問 17 貴事業所では、次のハラスメントの概念について、従業員に共通の理解が得られていると思いますか。(〇は1つ)



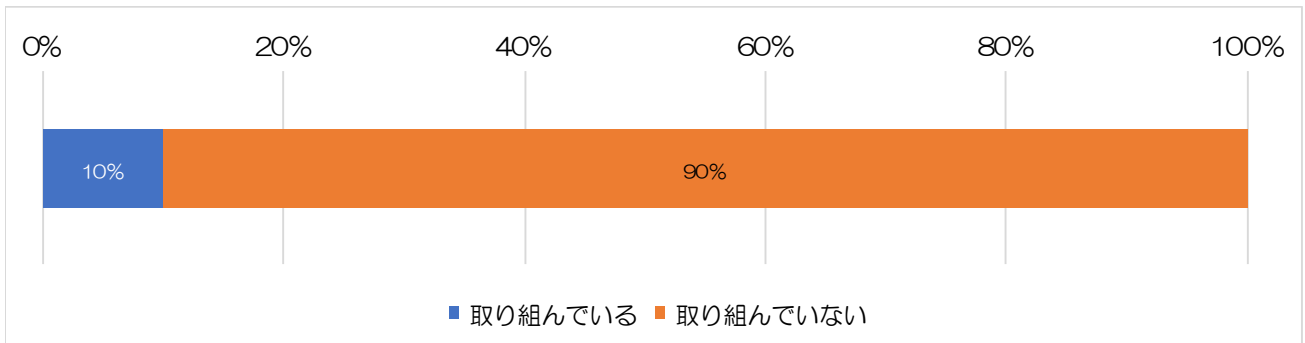
問 18 貴事業所では次のハラスメントの防止について、どんな取組をしていますか。

(〇はいくつでも)

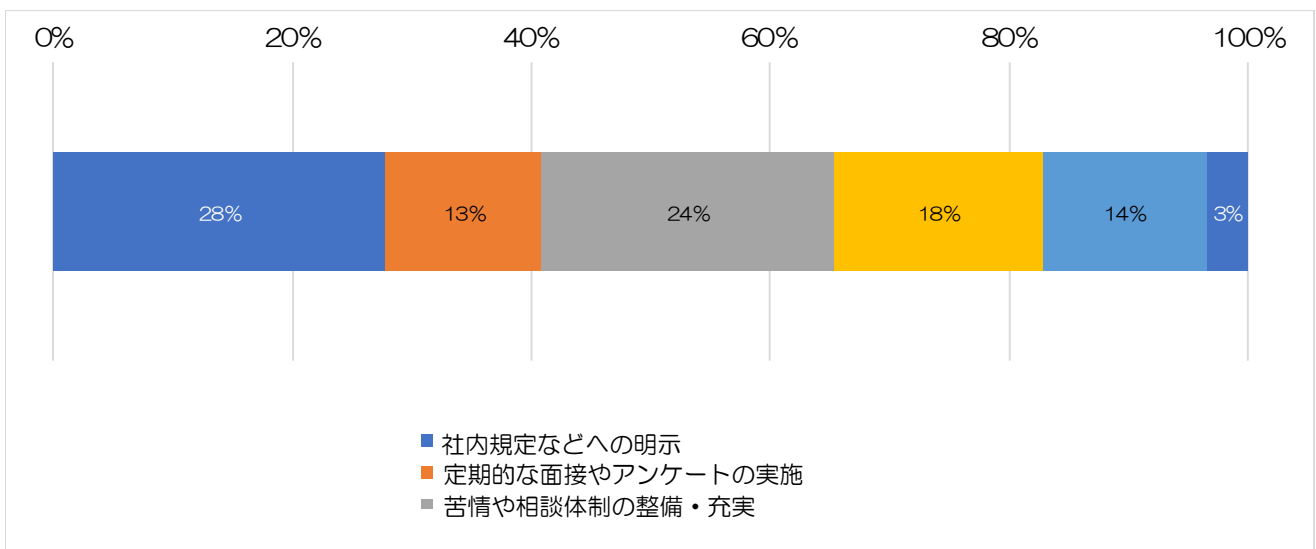




問 19 問 17、18 に記載されているもの以外のハラスメントについて、何か取組をしていますか。

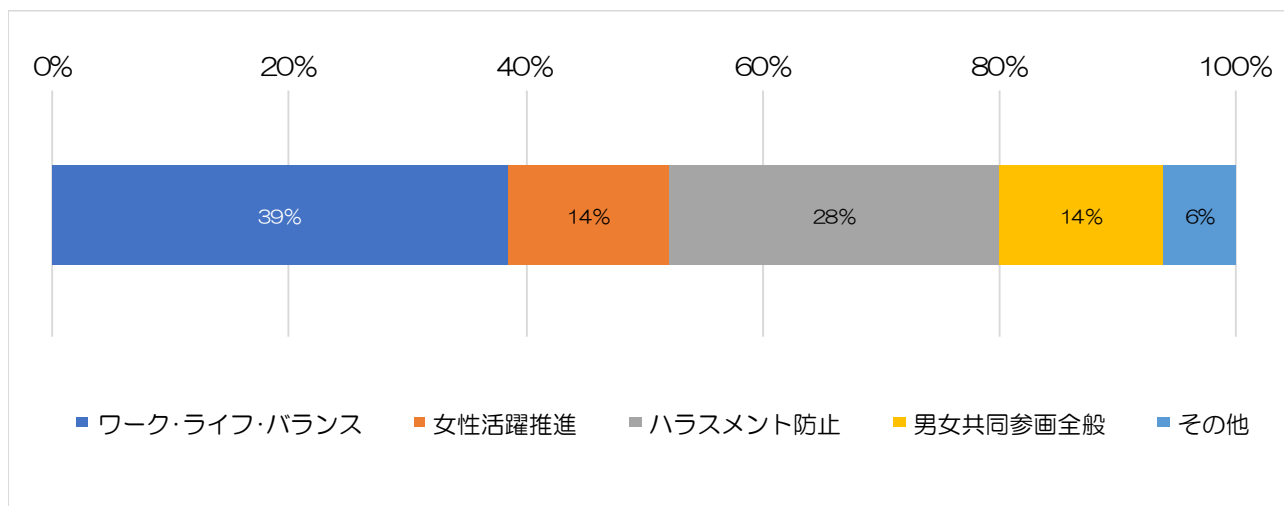


問 20 問 19 で1とお答えの方に伺います。具体的にどのような取組をしていますか。  
(〇はいくつでも)



事業所としての今後の取組について伺います。

問 21 市では、男女共同参画に関する研修会、講演会などを開催していきませんが、どんなテーマのものであれば参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)



問 22 貴事業所において、男女共同参画を実現するために取り組んできたことや今後取り組んでいこうとされていること、問題点などについて、自由にご記入ください

■代表的なもの

積極的に女性の雇用を推進したいが、業務内容の都合により難しい。
コミュニケーションを大切にし、一人一人の事情に合わせた働き方を進めている。
まだまだ周知が足りていない方や認識が薄いのではと思う。
男女ともにサークル活動や改善提案活動を行っている。
女性の雇用を積極的に進めており、特に問題は感じていない。

市の事業に対する認知度について伺います。

問 23 伊勢市が結婚を希望する人を応援する施設として、主に出会いの場の情報提供、相談、セミナーの開催を行う「いせ出会い支援センター」を開設していることを知っていますか。(〇は1つ)

問 24 伊勢市が毎年、女性の能力活用や、性別に関わらず個性と能力を發揮できる環境づくりに取り組んでいる事業者を募集し、中でも特に優れた取組をしている事業者等を表彰していることを知っていますか。(〇は1つ)

問 25 伊勢市が実施している事業で、結婚を希望する従業員を応援する企業・団体を募集・登録し、結婚支援のノウハウ提供や、企業向けのセミナー開催などのサポートを行う、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」を知っていますか。(〇は1つ)

